

皆さんの学校ではどうなっていますか？

◆本 VS ネット？ いやどちらも使おう！

学校図書館って昔は本しかなかったけれど、今の時代はいろいろなデジタル情報も多くなっているわね。



電子図書館や学習用データベースを導入する学校も増えてきているね。図書館はデジタル情報にも詳しくなければいけないのかな～。



「学校図書館ガイドライン」には、「学校図書館の図書館資料には、図書資料のほか、雑誌、新聞、視聴覚資料(CD、DVD等)、電子資料(CD-ROM、ネットワーク情報資源(ネットワークを介して得られる情報コンテンツ)等)、ファイル資料、パンフレット、自校独自の資料、模型等の図書以外の資料が含まれる。」としっかり書いてありますよ。

また、「児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた様々な形態の図書館資料」として、「例えば、点字図書、音声図書、拡大文字図書、LLブック、マルチメディアデジター図書、外国語による図書、読書補助具、拡大読書器、電子図書等の整備も有効である。」とあります。



ネットの資料も含まれるんだ！
じゃあ、学校図書館にもネット検索ができる環境が必要？

そうね。インターネットにつながる図書館用のパソコンも必要だし、児童生徒の端末がインターネットにつながる環境も必要ね。



文部科学省は、学校図書館も含めて校内LANを整備することを奨励していますし、実際にいくつかの自治体では、学校図書館に無線LANがすでに整備されています。



調べるときも、本だけではなくネット情報も使うとなると、学校図書館からの支援も変わってくるのかな。

これからは、図書資料だけでなく信頼性の高いWebサイトの紹介も必要だし、本を探すのと同じようにWebサイトの検索の支援もしないといけないわね。



学校図書館は本、ネットはPC担当の先生、ではないんだね。



デジタル情報を見たり、図書資料を実際に手に取ったり、いろいろなものを使っていくと、子どもたちは、「こんな時は本がいい」とか「時事的なことはWebサイトがはやい」というように、自分で選んでいくようになります。

学校図書館としては、本もネットも含め、いろいろな情報源を使わせようという考え方が大事ですね。